

## 群馬県人権教育の重要課題

### 1 人権とは

人間の尊厳に基づいて各人が持っている固有の権利であり、社会を構成するすべての人々が個人としての生存と自由を確保し、社会において幸福な生活を営むために欠かすことのできない権利。（「人権教育・啓発に関する基本計画」より）

### 2 群馬県人権教育の重要課題

- (1) 女性
  - 性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現をめざす。
- (2) 子どもたち
  - 子どもの人権を尊重する社会の実現をめざす。
- (3) 高齢者
  - 高齢者が生き生きと暮らせる社会の実現をめざす。
- (4) 障害のある人たち
  - 障害のある人たちの自立と社会参加をめざす。
- (5) 同和問題
  - 同和問題に関する差別意識の解消を図る。
- (6) 外国籍の人たち
  - 外国籍の人たちに対する偏見や差別の解消を図り、多文化共生社会の実現をめざす。
- (7) HIV感染者等の人たち
  - HIV感染者やエイズ患者に対する偏見や差別の解消を図る。
- (8) ハンセン病元患者の人たち
  - ハンセン病元患者の人たちへの偏見や差別の解消を図る。
- (9) 犯罪被害者等
  - 犯罪被害者等に関する人権問題について理解を深める。
- (10) インターネット等による人権侵害
  - インターネット等による人権侵害や情報モラルに関する学習を行う。
- (11) その他の人権問題（アイヌの人たち）
  - アイヌの人々に対する偏見や差別の解消を図るとともに、様々な人権問題（刑を終えて出所した人、同性愛者、性同一性障害の人たちなど）について理解を深める。